

「ロータリーのマジック」

国際ロータリー第2510地区
岩見沢ロータリークラブ

岩見沢RC会長方針

「ロータリーを笑顔で楽しもう」



第3388回例会プログラム 令和6年12月5日

- ・年次総会
- ・会員卓話 向田 基市 会員

次回予告 (12月12日)

- ・クラブアッセンブリー

■近隣クラブ例会日

長 沼RC 月曜日 19:00 岩見沢東RC 火曜日 12:30 栗 山RC 火曜日 12:15
江別西RC 火曜日 12:30 当 別RC 火曜日 12:30 栗 沢RC 水曜日 12:10
美 唄RC 木曜日 12:15 江 別RC 木曜日 12:30 由 仁RC 木曜日 12:15

- 第71代会長 山 岡 秀 一
- 会長エレクト 内 田 茂 伸
- 副 会 長 菅 野 聖 人
- 幹 事 徳 重 寛 道
- 例 会 日 毎週 木曜日 12:30
- 例 会 場 岩見沢市 4 条東 1 丁目 Tel (23) 7788
北海道グリーンランド ホテル・サンプラザ
- 事 務 所 岩見沢市 4 条東 1 丁目 Tel (24) 0700 Fax (24) 0020
E-mail : imz-rc@lapis.plala.or.jp
北海道グリーンランド ホテル・サンプラザ 4F (10:00～13:00)
- インターアクト (岩見沢緑陵高校) 例会 第 3 木曜日 15:30～
- 初スヶ羅ロータリークラブ 例会 毎月第2・第4水曜日 18:30～ 岩見沢RC事務所

第3387回 (11月28日) 例会記録

ゲ ス ト ;

ビジター ; 岩見沢市教育委員会 教育長 吉永 洋 氏

出席報告 ;	例会日	会員数	記録会員数	出席数	メイクアップ	欠席数	%
	11/28	79	74	62	0	12	83.78
	11/14の暫定	79	75	68	8	7	90.67

欠 席 者 ; 田 苺子・三嶋・齋藤(聡)・山口・南原・菊谷・荒井・藤波・小熊・坂本
大作・赤坂

メイクアップ ; 11/14 次年度指名委員会 (11/21) 浅野
11/21 理事・役員会 (11/7) 五十嵐
11/28 理事・役員会 (11/7) 齋藤(聡)
次年度指名委員会 (11/21) 田 苺子

愛の古切手 ;

配 布 物 ;

今週のメニュー ;

会長報告

山岡 秀一

- ❶ 雪かと思えば雨、積もったかと思えば消え…と、不安定なお天気が続いておりますが、会員の皆さまには、本日も「笑顔」で例会にご出席されて何よりです。
- ❷ 我がクラブでは、例年、ロータリー財団の地区補助金を受けて「社会奉仕プロジェクト」として奉仕事業を行っておりますが、今年度はく岩見沢市点訳赤十字奉仕団様へ「点字タイプライター」1台と、「点字編集システム」2セットを寄贈する事になりました、現物が届きましたので、ここにご紹介させていただきます。<点訳奉仕団>様では、文字を見ることができない視覚障がい者に対し、市の広報をはじめ、いろいろな読物、書物、などを点字変換した紙を作成・提供しています。パソコンで入力して点字プリンターで印刷する方法が主ですが、現場や障がい者の自宅などで、プリンターのない場所や電源のない場所では、点字タイプライターが有効な手段となります。奉仕団では2台所有していますが、使用可能な

のは1台であり、残りの1台は部品がないため修理不能の状態との事です。品名は「パーキンスプレーラー」という海外製の製品です。価格は1台約22万円で、これに「点字編集システム」というPCソフトのライセンス2セットを加え、寄贈したいと思っております。来る12月11日(水)に徳重幹事と上野社会奉仕委員長とともにお届けする予定です。

会長報告は以上です。

幹事報告

徳重 寛道

- ❶ 本日急ぎの報告はございませんが、次回の例会は、12月5日(木)で、年次総会となります。

幹事報告は以上です。

委員会報告

- ・忘年会新年会登録料徴収のお知らせ
(会計 木元久嗣会員)

プログラム

青少年奉仕委員会担当



峯青少年奉仕委員長

ゲスト卓話

「近年の子どもを取り巻く現状について」

岩見沢市教育委員会
教育長 吉 永 洋 様



岩見沢市における少子化の現状、子どもたちを取り巻く現状、市教委の施策等について本日は4点についてお話いたします。

はじめに、岩見沢市における少子化の現状について顕著

な例を3点あげさせていただきます。1点目は、1学年に1学級しかない学級数が大幅に増加しています。このような状況下では、人間関係が固定化され、人間関係が悪化しても抜け出せないというデメリットも考えられます。2点目は、集団競技が成立しにくくなることです。少子化の影響を受けている学校とそうでない学校とで、部活動の設置数が異なり、子どもたちの活動の機会が減ってきている事、そして、地域間の格差も広がっている状況です。3点目は、子どもと地域とのつながりが希薄化してきていることです。子ども会の数が減り、子どもと地域の結びつきも弱まってきています。このような少子化に加え、近年は子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しております。

これまでの社会は、統制のとれた組織の下で同質性・均質性を備えた一律一様の教育・人材育成が求められており、一斉授業・平等主義のもとに世界トップレベルの教育・人材育成システムが日

本の大きな経済成長を支えてきました。しかし、これからの社会は、大きな時代の転換が求められており、一人一人の子どもの可能性を最大限引き出す教育・人材育成の転換が求められております。このことは学校現場においても同様で、「そろえる教育」から「伸ばす教育」への転換を図る必要があります。さらに、内閣府の資料によると、今1つの教室の中には発達障害のある可能性のある子ども、特定の分野に秀でた才能を持つ子ども、不登校及び不登校傾向にある子ども、外国籍の子どもなどが、多様な子どもたちが一定数いると言われており、岩見沢市の児童生徒も例外ではありません。岩見沢市特別支援教育推進委員会における調査において、通常学級における特別な支援が必要な児童生徒数は、増加傾向にあり、また、不登校及び不登校傾向の子どもについても年々増加しています。このような少子化や多様化に伴い、かつてのように学校がすべての分野・機能を担うことでは、子どもたちを取り巻く環境の充実には至らないのが現状で、社会や民間のお力添えが不可欠な状況にあります。

その中で子どもたちの健やかな成長を支援するために、市教委が行ってきた施策についてご紹介いたします。はじめに部活動への対応です。少子化に伴う、部活動の減少により、活動機会の減少や学校間による体験格差が広がっております。他にも、合同チームの組み換えが必要であったり、廃部が増えてきたり、新たな種目を増やすことができない状況です。このことから、市教委では令和5年度のサッカー部を皮切りに、いわゆる拠点校方式を採用しました。保護者の送迎が必要な部分などから、まだまだ改善の余地が必要ではありますが、体験格差、指導者間による格差を縮めることができました。

2つ目は、地域社会とのつながりが希薄化することに対する取組です。地域と子どもとのつながりが薄れる弊害をなくすことを目的に、コミュニティ・エリア構想を進めております。コミュニティ・エリア構想とは、「地域とともにある学校」というスローガンのもと、学校だけではなく地域総がかりで子どもたちを育てていくこと、また「学校を核とした地域づくり」をスローガンのもと、学校があることで地域が活性化することを目的としております。そのために、各中学校区に学校運営協議会を立ち上げ、学校運営にかかわって同じ目線で熟議を行い、実際の教育活動に反映させております。各学校または各中学校区で学校行事への地域住民の参加や、

学校を会場とした地域のお祭りを開催するなど、様々な取組が行われております。ある学校を会場とした祭りでは、運営していく中で、校内の企業等から協賛金を募ったり、地域の企業にチラシの作成を依頼し、学校を通じて子どもたちに配布したり、運営スタッフは歴代のPTA役員の皆様や中学生が担当するなど、地域、企業のご協力を得ながら運営を行っております。

人は人の中でしか生きていけません。様々な人と出会い、沢山の人たちとの関わりを通して成長していくものだと思います。そのためにも、社会総がかりで子どもを育てていきたいと願っており、本日お集りの皆様のお力添えが不可欠と考えております。皆様方におかれましては、無理のない範囲で子どもたちの教育に積極的にかかわっていただければ幸いです。

ネクスト衛星クラブ・第126回例会報告

と き／11月27日(水)
と ころ／ロータリー事務所

青少年奉仕委員会担当例会ということで、北海道教育大学岩見沢校教授である奥田知靖様をお招きし、青少年のスポーツについてお話いただきました。これまでのスポーツ育成の方法では、運動嫌いな子供たちがドロップアウトしてしまい、結果として生涯スポーツの実現は困難であるため、子供たちに体を動かすことの楽しさを享受してもらうための指導が求められているというお話は、なるほどな、と思わせるものでした。体を動かすことの重要性、そして、体を動かすことによる成功体験や楽しさを青少年期にどれだけ味わうかが大切であること、これらを知ることのできた例会となりました。



会員12月の誕生祝

- ・北 市 宗 三 (昭和24年12月 2 日)
- ・武 蔵 輝 彦 (昭和32年12月 9 日)
- ・西 方 洋 昭 (昭和39年12月 1 日)
- ・南 原 考 之 (昭和45年12月 9 日)
- ・浅 野 賞 一 (昭和33年12月11日)
- ・早 坂 亮 二 (昭和31年12月15日)
- ・赤 坂 真 一 (昭和52年12月14日)

会員夫人の誕生祝

- ・佐 川 夫 人 (12月 1 日)
- ・山 崎 夫 人 (12月12日)
- ・齋藤(聡)夫 人 (12月 2 日)
- ・早 坂 夫 人 (12月 8 日)
- ・坂 本 夫 人 (12月 7 日)
- ・江 連 夫 人 (12月13日)

会員卓話

向 田 甚 市 会 員

1980年2月1日入会 ロータリー歴44年11カ月
職業分類 自動車整備

【ロータリー略歴】

- 1981-82年度 副 SAA
- 1982-83年度 副会計
- 1983-84年度 出席委員会 委員長
- 1984-85年度 親睦活動委員会 委員長
- 1985-86年度 副幹事
- 1986-87年度 幹事(長谷川暢一会長)
- 1987-88年度 米山奨学会 委員長
- 1988-89年度 職業奉仕委員会 委員長
- 1989-90年度 SAA
- 1992-93年度 会員選考委員会 委員長
- 1993-94年度 社会奉仕委員会 委員長
- 1994-95年度 副会長
- 1995-96年度 会長エレクト
- 1996-97年度 会長
- 1997-98年度 R 情報委員会 委員長
- 1999-00年度 会員増強委員会 委員長
- 2005-06年度 SAA
- 2010-11年度 SAA

【主な地区役員】

- 2001-02年度 第3グループ ガバナー補佐

山岡 会長

岩見沢市教育委員会教育長 吉永洋様、本日の卓話宜しくお祈いします。

内田 会長エレクト

○吉永教育長、本日は卓話よろしくお祈いします。

○上野先輩、先月はお世話になりました。

菅野 副会長

○峯委員長、担当例会のご準備おつかれ様でした。

○吉永洋教育長、本日の卓話楽しみにしております。ありがとうございます。

徳重 幹事

○峯委員長、本日は宜しくお祈い致します。

○吉永教育長、ようこそおいで下さいました。宜しくお祈い致します。

○大屋 会員

先頃受診した健康診断では、便潜血やら胆管腫瘍の疑いやら怪しい結果が幾つか出ており、時間をかけて再検査に臨んでおりましたが、26日の大腸カメラのエコーで経過観察も解かれました!取り敢えず一安心ですが、壊れる年頃である事を実感させられました。私と同世代の皆さんも健康には十分留意され PPK を目指しましょう! 早退します。

小林会員、中塚会員、武蔵会員、北澤会員、中路会員、中村会員、上野会員、河野会員、神田会員、浅野会員

吉永教育長様、本日よりしくお祈いします。

嵯峨 会員

吉永教育長、岩見沢の夢ある教育の話、宜しくお祈いします。

小川会員、江本会員、大西会員、前田会員、

木村会員

○峯委員長、本日はよろしくお祈い致します。

○岩見沢市教育委員長 吉永様、本日は卓話楽しみにしております。

峯 会員

○吉永教育長様、本日は宜しくお祈い致します。

○例会を担当させて頂きます。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること；